

たいし 議会 だより

177号

令和3年 9月定例会

◆定例会概要

◆第1回臨時会概要

◆6議員が**町政を問う** (一般質問)

◆議会のうごき

p1～p5

p5

p6～p8

p9～p10

令和3年9月撮影 工事中の(仮称)生涯学習施設

発行/太子町議会 編集/議会広報特別委員会

令和2年度 決算認定

総額104億

2年度一般会計6807万

第3回定例会は、9月1日に招集され、22日までの22日間にわたって開かれました。

今定例会では、一般会計はじめ各会計の決算認定、補正予算、条例改正、請願、意見書などについて審議され、すべての議案を可決・認定・同意・採択されました。

また、一般質問には、6人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。



一般会計

質疑

政策総務部関係

問 町税に不納欠損額が発生した理由は。

答 転居先不明等により徴収ができず、かつ5年の時効を迎えたため。

問 三世同居・近居支援補助金の実績は。

答 30年度4件、31年度9件、2年度4件、今年度は現時点で6件。

問 財政運営の是非は。

答 コロナの影響を除いても自主財源は減少傾向。歳入は、対前年度比0.5%増だが大幅な増収は見込めない。歳出は、実質単年度収支が2年連続で赤字。赤字解消へ計画的な財政運営を図っていく必要がある。

健康福祉部関係

問 緊急通報装置賃借委託事業の現状は。

答 大阪ガスに委託し、45名の方が登録。2年度は5件の緊急通報を受けた。定期的にコールセンターから安否確認の電話も行っている。

問 こども医療費助成の対象年齢を18歳まで拡大した効果は。

答 2年1月～3月診療分と、拡大後の3年同期分の状況を比較した場合、拡大分だけで助成件数823件、助成額225万円程度の利用。コロナの影響で、子ども全体では受診控えが見られる中、多くの方が受診した。

まちづくり推進部関係

問 和みの広場の「たいしくん像」の製作費は。

答 観光案内板と3基の像を製作。観光案内板整備委託料で、1千617

万円、1基あたり100万円程度。

問 観光拠点整備事業凍結で、空き地になった土地の活用は。

答 灯路祭り中止による代替企画として、菊や灯ろうの展示などを実施した。草刈り等の維持管理を徹底しながら活用方法を検討したい。

問 観光拠点整備の方向性は。

答 竹内街道交流館で観光まちづくり協会を運営。社会情勢や観光まちづくり協会会員の意見を踏まえ、あり方を検討していく。

問 普通河川の管理状況は。

答 善秀寺川、太井川、飛鳥川、唐川、山山谷川、浦ん川の6河川は、30年度に策定した普通河川個別施設計画に基づき、順次改修している。

問 町道の老朽化対策を。

答 舗装の個別施設計画に基づき、竹内街道を中心に改修。その他の路線は、劣化度や地域特性、交通量な

令和2年度末 各会計の決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額	
一般会計	70億4742万3千円	69億7934万6千円	6807万7千円	
国民健康保険特別会計	14億1763万円	14億354万1千円	1408万9千円	
山田財産区特別会計	422万4千円	391万円	31万4千円	
春日財産区特別会計	91万5千円	68万8千円	22万7千円	
介護保険特別会計	12億7134万4千円	12億3222万5千円	3911万9千円	
後期高齢者医療特別会計	2億2551万5千円	2億1853万3千円	698万2千円	
下水道事業 会計	収益的収支	3億4270万4千円	3億4226万1千円	44万3千円
	資本的収支	1億7327万9千円	2億6777万8千円	△9449万9千円
合計	104億8303万4千円	104億4828万2千円	3475万2千円	

※下水道事業会計の資本的収支の差引△9449万9千円は、当年度分損益勘定留保資金等により補てんしています。

8303万4千円 は、どう使われたのか

6955円の黒字決算 (実質収支も5444万6千円の黒字)

どから優先順位を判定し、計画的に改修する。停止線などの規制線は、府公安委員会の管轄。要望していく。

問 大阪版認定農業者支援事業の実施状況は。

答 本町スマート農業推進協議会の事業。施設整備経費の3分の1を補助。2年度はぶどうハウスの自動開閉機を設置。本事業は、府が求める「3名以上での事業活用」が条件。希望があれば、活用していきたい。



ぶどうハウスの自動開閉機

教育委員会所管関係

問 学校ICT化に伴う各家庭へのWiFi環境の整備方針は。

答 補助金を活用したWiFiルーターの整備を検討。タブレット端末を家庭へ持ち帰る際のルールの作成や、各家庭におけるWiFi環境の整備状況の調査を実施している。

問 入学祝い品贈呈事業、新入学応

援緊急給付金の内容は。

答 入学祝いは、2年4月1日が基準日で、新小1の111人に図書カード5千円分、新中1の132人に図書カード1万円分を贈呈。新入学給付金は、3年4月1日が基準日で、新小1の108人、新中1の130人に3万円を給付した。

討 論

【反対】 財政が厳しいと言うが、黒字。住民には、正確な情報を。政府はワクチン接種と一体に、医療体制強化、大規模検査、十分な補償など講じるべきなのに高齢者医療費2倍化法、病床削減推進法を強行。府は、コロナ関連事業に補正予算を編成したが、国の支出と預託金などで賄われており、府独自の支出は約22億円だけ。全国各地で、コロナの新規感染者数が急増し感染爆発、医療崩壊が深刻になっている今、命を守ることを最優先にした対応が求められている。子どもの医療費助成18歳まで拡充は、日本共産党も求めていたことであり評価できる。公約に掲げた

給食費無償化の実施を。公民館建て替えて、受益者負担はあたりまえだと有料の貸館に変質させようとしている。一層の住民福祉向上のための町政運営を求めて、反対。

【賛成】 町税全体は5644万6千円減収したが、国・府支出金や地方交付税、地方債と基金の活用など財源を確保。コロナ感染症対策事業で、特別定額給付金や生活支援特別給付金、定額給付金など、町独自の施策も含め16億5174万円を執行。子ども医療費助成の対象年齢引き上げや高齢・障がい者福祉事業、健康づくり関連事業、道路や河川の改修、教育施設への投資など安全・安心のまちづくりや、学校教育の充実を推進。地域公共交通事業は、実証運行がスタート。聖徳太子没後1400年事業や、生涯学習施設の工事着手など、困難な行政課題、多様化する行政需要に対応したことは、一定評価できる。引き続きコロナ感染症対策を要する状況だが、住民だれもが安心して暮らせる、持続可能なまちづくりに努めることを要望して、賛成。

令和2年度末 積立金現在高

財政調整基金	13億6887万1千円
減債基金	787万7千円
特定	
退職手当基金	1億2549万3千円
老人福祉基金	374万3千円
公共施設整備基金	9億5905万円
環境衛生等基金	2594万9千円
太子まちづくり「夢」基金	2669万4千円
たいし・ふれ愛福祉基金	3308万2千円
ふるさと太子応援基金	4467万3千円
森林環境譲与税	230万4千円
土地開発基金	1億84万6千円
合計	26億9858万2千円

令和2年度末 地方債現在高

公共事業等債	4283万5千円
一般	
一般単独事業債	6億4862万8千円
学校教育施設等整備事業債	6億8307万7千円
計	
臨時財政対策債	26億7072万円
その他	2億7383万8千円
合計	43億1909万8千円

国民健康保険

質 疑

問 一人当たりの保険料が大阪府内で11番目に高い理由は。

答 本町の被保険者の平均所得が比較的高水準なのが影響している。

問 一人当たりの医療費が大阪府内で39番目と低い水準である理由は。

答 介護や健康増進部門と連携した保健事業の成果だと分析している。

問 保険料の収納率が上がった理由は。

答 課にコールセンターを設置し、滞納分だけでなく現年分保険料に未納のある方にも、2ヶ月に1回程度、納付勧奨の電話を行っていることが挙げられる。

問 一般会計からの「その他繰入金」の内訳は。

答 夏と冬の集団健診での「がん検診」のセット健診で、173万4810円、保険料の町独自減免等に対する費用で、200万円、地方単独事業実施に係る国庫負担金減額分で、180万8680円の繰り入れを行っている。

問 町独自減免等に係る200万円の繰り入れの今後は。

答 6年度には府内統一基準となる。このため町独自の法定外繰り入れを維持していくことは困難だが、減免基準の後退とならないよう府に要望していく。

討 論

【反対】 国は、2020年4月から、独自の公費繰り入れで国保料軽減を続ける市区町村に対し、保険者努力支援制度の交付金を減らす圧力を強めているが、国保料の負担抑制や自治体独自の保険料減免を維持・拡充することは可能。全国町村会など地方団体は、公費投入増による保険料引き下げを国に求め続けている。「国保の都道府県化」に突き進むもとの、太子町は、毎年のように保険料が値

上げに。それでも、少しでも値上げ幅を抑えようと町独自財源である国民健康保険財政調整基金を活用。町の独自減免200万円は、大きな額ではないが、住民の暮らしを守るために続けている大切な思いのこもった一般会計からの繰入。継続することを求める。コロナ禍で、6年からの府内統一の延期を求める自治体も生まれている。住民福祉の増進に努めなければならない町として国や府に財政支援を、町としても高すぎる国保料引き下げを求め、反対。

【賛成】 昨年からのコロナ感染拡大を受け、医療機関への受診控えが見られた結果、歳入歳出ともに大幅に減少。コロナ感染症の影響で収入が減少した方を対象に保険料減免や、基金を活用し保険料の上昇を抑制するなど、被保険者の負担に配慮した施策を行った。さらに被保険者に対して早期よりきめ細かな対応を行い収納率向上にも努め、国保事業に必要な財源確保に努めている。受診控えや出生数の低下などで保険給付費が大きく減少するなど、コロナ感染症の影響が見られるが、感染防止対策を徹底し、例年同様、夏と冬の年2回の集団健診を実施。保健事業の充実にも努めている。現在の少子高齢化や社会保障制度を取り巻く環境の変化で、被保険者の多くが年金生活者や所得の低い被保険者が占める状況の中、国・府の支出金や基金の活用など一定評価する。6年度の統一を見据え、被保険者にとって公平・公正な国民健康保険事業となるよう要望し、賛成。

介護保険

質 疑

問 保険料の徴収率は。

答 特別徴収100%、普通徴収94.8%、滞納繰越分18.8%、全体が98.7%。前年度より0.6%向上している。

問 コンビニ収納の実績は。

答 2年度は1280件、839万6250円をコンビニ窓口で収納。前年度比では206件、約91万円の増。

問 社会福祉協議会に委託している事業は。

答 サロン送迎委託料、元気ぐんぐんトレーニングや高齢者交流サロン等の地域リハビリテーション活動支援事業委託料、生活支援コーディネーター委託料。

問 災害等臨時特例補助金の内容は。

答 コロナの影響で収入が減少し、所定の条件を満たした場合に減免を行う。2年度は4件の申請を受け付け、31万5940円の補助金を交付。



万葉ホールで集団接種

後期高齢者医療

質 疑

問 住民一人当たりの医療費は。

答 一人当たり91万7955円。府内で最も低い水準。理由として、国民健康保険と同様、町の健康促進の取り組みの成果だと分析している。

問 コロナによる減免状況は。

答 31年度2名、2年度2名、今年度3名の保険料減免を行った。減免に係る補助金は、国から府後期高齢者医療広域連合に交付される。

討 論

【反対】 65歳以上の介護保険料基準額が6,480円。年金は減り続け、6割近くが減免を受けている。政府は現役世代の保険料負担軽減を強調するが、現役世代軽減額は1人当たり月約30円だけ。削減されるのは国・

自治体の公費1140億円。コロナ禍でも大もうけしている大企業や富裕層に応分の負担を求め、社会保障財源を拡充し、国民が安心できる制度にすることが急務。高齢者に負担を押し付ける、世界でも例を見ない高齢者いじめの後期高齢者医療制度の廃止を求め、反対。

【賛成】 負担と給付のバランスをとりながら必要に応じて制度を見直している。全ての世代に理解が得られる持続可能な社会保障制度として、次世代に引き継ぐことが求められている。6月に「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」が公布され、今後、負担能力のある方が負担するなど見直しが行われる予定。制度の趣旨に則り、適切に事業運営されており、一定評価できる。府後期高齢者医療広域連合と連携を密にし、円滑な運営を要望し、賛成。

下水道事業

質 疑

問 南河内4市町村下水道事務広域化の効果は。

答 管路点検を合同入札するスケールメリットや、人口減少に伴う使用料収入の減少、老朽化施設の急増に伴う維持管理費や更新費用の増加、ベテラン職員の退職と組織体制の縮小による技術継承の困難化といった課題を補完する場として有効活用している。

問 今後の企業債の発行見込みは。

答 企業債は昨年度をピークに減少していく予定。今後も起債額が増加しないよう、計画的に管路等の更新工事を行っていく。



下水のマンホール内

条例改正

●税条例等中改正の件

質 疑

問 住民への影響は。

答 個人住民税の扶養控除での国外居住親族の取り扱いの見直しに関しては、本町に居住する約50名の外国人労働者のうち、国外に30歳以上70歳未満の親族を扶養している方は、本改正で影響を受ける。全員が事業所に勤務している方なので、事業所を通して周知していく。

問 施行期日が6年1月1日の理由は。

答 本改正は所得税と同内容の適用。所得税が5年1月1日施行、5年分以降の所得に適用するよう改正されたことを受け、個人住民税も同内容、同時期に適用するため、最短の施行期日として、令和6年1月1日とした。

問 セルフメディケーション税制の影響は。

答 全住民が従来の医療費控除で申告。セルフメディケーション税制で医療費控除を受けている方はいないため、影響はない。

選任・同意

●監査委員

(3年9月21日～7年9月20日)
植木 堅二氏

●固定資産評価審査委員会委員

(3年9月29日～6年9月28日)
上田 稔氏

●春日財産区管理委員

(3年10月1日～7年9月30日)

土井 武久氏

松井 元治氏

松井 義久氏

角田 勝紀氏

仲村 公良氏

間 昌義氏

岸本 邦雄氏



補正予算

会計名	補正額	補正後の総額
3年度 一般会計(第7号)	7729万円	59億6525万7千円
3年度 国民健康保険(第2号)	1408万8千円	15億2287万2千円
3年度 介護保険(第2号)	5073万2千円	14億3575万6千円

●一般会計補正予算(第7号)

質 疑

問 公共施設等総合管理計画策定業務委託料の具体的な内容は。

答 公共施設の老朽化対策に着手するため昨年度、作成した個別施設管理計画を既存の総合管理計画に反映させるため業務委託した。公民館

は(仮称)生涯学習施設の建設に伴い、除却予定。

問 事業者一時支援金の給付対象者は。

答 国、府の支援対象となる場合を除いて、31年もしくは2年と今年を比較して、売り上げが15%以上50%未満減少した事業者が対象。

『「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂をあらゆる埋立に使用しないよう求める意見書」の提出を求める請願』全会一致で採択

☆「請願」採択後、提出した意見書要旨です。
過去の沖縄戦では、多くの尊い命が失われた。「沖縄戦跡国定公園」では、戦後76年が経過した今でも、戦没者の遺骨収集が行われており、先の大戦で犠牲になった人々の遺骨が入った土砂を埋立に使用することは、人道上許されない。

1. 沖縄戦の戦没者の遺骨が混入した土砂をあらゆる埋立に使用しないこと。
2. 日本で唯一、住民を巻き込んだ地上戦があった沖縄の事情に鑑み、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」により、日本政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること。

※衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、環境大臣、防衛大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣宛に送付しました。

「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書」可決

☆提出した意見書要旨です。
地方財政は、来年度も巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。
地方自治体は、財政需要の増嵩が見込まれる社会保障等への対応に迫られており、このためには、地方税財源の充実が不可欠である。国は、令和4年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、5項目の財政措置を実現されるよう強く要望する。
※衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、経済産業大臣、内閣官房長官、経済再生担当大臣宛に送付しました。

第3回定例会 審議結果一覧表

件名	審議結果	斧田 秀明	建石 良明	西田 いく子	藤井 千代美	辻本 ひろゆき	辻本 馨	山田 強	中村 直幸	森田 忠彦	村井 浩二
3年度一般会計補正予算（第6号）の専決処分の件	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告の件	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	●	●	○	○	○	○	○	—
国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	●	●	○	○	○	○	○	—
山田財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
春日財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	●	●	○	○	○	○	○	—
下水道事業会計決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
税条例等中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
監査委員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
春日財産区管理委員の選任について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
「沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂をあらゆる埋立に使用しないよう求める意見書」の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—

各議員の審議結果 ○賛成 ●反対 —議長 ※可否同数の場合は、議長採決

第1回臨時会

10月22日、第1回臨時会が招集され、一般会計補正予算、教育委員の選任同意について、それぞれ全会一致で可決・同意されました。

●3年度一般会計補正（第8号）

補正額 1509万1千円
（新型コロナワクチン接種体制確保事業）
補正後総額 59億8034万8千円

●教育委員任命同意（3年11月21日～7年11月20日）

筒井 完次 氏



舵取り担当1年半の進捗状況について

自民党
山田 強 議員

問 公約に掲げた①住民と共に歩む住民本位の町政を推進、②活気あふれる子育てしやすい町、③健康で生き生きと暮らせる安全で安心な町、④自然と歴史を活かしたにぎわいのある町、⑤行財政改革を断行し、持続可能な町。以上5項目の1年半の進捗状況は？

答 住民の生命・健康・生活を守るために必要となる新型コロナウイルス感染症に関する施策を最優先に実施。公約に掲げた5項目への取組は、政策総務部を中心に関係部局の連携体制を強化し、さらに加速させることとしている。

問 本町は国から移譲された助成金の約13億円、3度の助成金計約3億6千万円の配分をした事務的作業だけ。公約でありながら手を付けていない。今任期中に実施をめざさないと住民を欺くことになる。

2点尋ねる。①町民の利便性の向上を図る為、推進するはずの住民票のコンビニ交付は？②子育て中の町民が期待する学校給食の無償化は？

答 ①来年度の事業実施をめざす。

②段階的無償化をめざし任期中に一定の形をつくる。

問 日本の人口は令和35年には一億を割ると推定されている。人口減少対策で本町のめざす方向は？

答 『公民連携』を行政経営の手段とする広域連携なども常に意識しながら、10年、20年、30年先を見据えた基礎自治体のあり方について議論していく。

問 公民連携は大きな事業と思うが、本町の現状と乖離していないのか？

答 現状をしっかりと分析し、本町に相応しい取り組みや必要な施策を見極め、持続可能な行政運営を進める。

問 空家バンクが本年1月スタート。現状と課題は？

答 空家の現状は減少傾向で、計画策定時の158件が、令和3年8月末現在で約120件。事業者の登録は8件。運用状況は、空家の利用希望者は14件登録。空家の物件登録は0件。今後は物件登録が課題。



コンビニのコピー機での住民票交付



公共施設等の適正管理について

大阪維新の会
建石 良明 議員

問 これまでの取組状況と今後の取組は。

答 人口減少社会での公共施設のあり方について、老朽化や諸課題の解決への議論を活性化させるべく、28年度末に『太子町公共施設等総合管理計画』を策定した。さらに個々の施設ごとに具体的な対策内容や、その実施時期、費用など検討する必要がある、31年度には文教施設、2年度にはその他町有施設の『公共施設個別施設計画』を策定した。今後は計画に基づき、負の資産となっている公共施設がないかといった視点で整理する必要を感じており、インフラ施設は改修・長寿命化を着実に実施していくとともに、建築物などいわゆるハコモノ施設は、住民ニーズを検証しながら、中長期的な視点を持って、施設の更新、統廃合、複合化、集約化等の方針をたて、財政負担の軽減・平準化を図り、人口減少社会に見合った、コンパクトなまちづくりを目指し、公共施設の最適化に努める。

公民連携について

問 太子町公民連携デスク設置後の取組状況は。

答 本年7月の『太子町公民連携デスク』の設置以降、本町からは12項目の提案募集を行い、4社から提案や相談を受けた。また、町内の6社の民間企業等からは、テーマを決めない自由提案として18項目の提案や相談を受けている。

現在、各社と連携に向けた具体的な協議を行っているところだが、このうち、大阪東部ヤクルト販売株式会社とは「太子町のPR」「健康、福祉、教育」「安全・安心」の3分野で、ガイドドリンコ株式会社とは「太子町のPR」「健康、福祉、教育」「安全・安心」「環境」「産業、観光」の5分野の連携について合意に至り、それぞれ包括連携協定を締結したところである。今後も、社会課題の解決、地域の活性化、また、まちの魅力や住民サービスのより一層の向上を図るため、積極的に民間企業等との連携や協働を進め、本町にふさわしい公民連携の取組を推進する。



役場3階設置の公民連携デスク



通学路・生活道路の安全強化を

日本共産党
藤井 千代美 議員

問 千葉県八街市において下校中の児童の列にトラックが突っ込み死傷する痛ましい事故が発生したことを受け、文部科学省、国土交通省、警察庁の3省庁が連携して、通学路の合同点検等を通じ安全対策するように7月9日に自治体に対し依頼が出されている。どのような取り組み・点検を行い、対応したのか。改善された点は。今後の対応策をどう進めるのか。

通学路・生活道路の安全対策を強化し、児童・生徒など住民の命を守る対策をすすめるよう求める。

答 子どもたちが通う通学路の交通安全確保への取り組みは、教育委員会の重要な課題の一つだと認識している。この通知を受け、7月に磯長・山田両小学校の通学路の緊急合同点検を実施し、対策について関係機関と協議し、警察の取り締まりの強化や道路安全施設の整備、路面標示等の対策を講じ、その後も継続して同様の点検・対策を実施してきた。これまでの通学路への取り組みは、登校時には可

能な限り叡福寺東交差点に警察官を配置して、規制の実効性を保つよう努めている。昨年度は、松の木保育園前の歩道にポールコーン等の設置、9月下旬には、府道富田林太子線の梓池公園付近で、側溝の蓋掛けや区画線等の設置工事が予定されている。太子ヶ丘を抜ける車両の事故防止対策として、交差点部分に停止を促す破線を1箇所設置。毎年、町内の危険な箇所に対してカーブミラーや転落防止柵の設置、ゼブラなどの路面標示の引き直しを劣化度や舗装工事の計画、優先度を踏まえて、地域整備課が順次施工している。今後も、通学路・生活道路の交通安全対策は、児童・生徒が安全で、安心して毎日通学できるよう、庁内の関係部署との横断的な連携強化を図り、町全体が「ワンチーム」となり、府や富田林警察等の関係機関との連携をより密にし、通学路の交通安全対策を進める。



ほとんど消えている規制線。危険！



住民生活を応援する公共交通に

日本共産党
西田 いく子 議員

問 「お出かけ支援」のワゴン車や福祉センター行きバスを有料にし、利用方法をかえたことが、福祉施策としては、後退したと思わないのか。ワゴン車は、どこが管理し、どう利用しているのか。あまりにも不便。料金を取り続けるというなら、堺市のように「お出かけ応援カード」(ICカード)を扱えるようにできないのか。

答 『どの地域に住んでいても、誰もが利用できる交通の確保』ができた。役場窓口職員や、社会福祉協議会の職員から移動手段が向上したとの声は聞いているが、お困りの方の声はほとんど聞いていない。福祉の移動サービスは後退していると考えていない。今年7月に、運行ダイヤと一部ルートの変更をさせていただいたところだが、ICカードの導入については、現時点で実施する予定はない。引き続き、地域公共交通会議で、継続的な検証・検討を進める。

図書館と公民館の複合施設では？

問 公民館は無料。なぜ生涯学習施設を有料にしようとするのか。

答 経費を税金で賄うことになれば、利用しない方と利用者との負担の公平性が確保できない。住民の双方の理解を得ることが重要であると考え、施設運営経費の一部を使用料負担する「受益者負担」を原則にする。



公民館(写真奥)を建替えて生涯学習施設に

介護保険料への引き下げを

問 制度本来の趣旨から取り過ぎた保険料を基金で残すのは間違い。保険料の引き下げに充当を。藤井寺市は、3年の途中の年に、引き下げを行った。今からでも保険料の引き下げを。

答 基金残高が約1億1800万円あるが、保険料算定に誤りがあったとは考えていない。22年を見据えた中長期計画で、高齢者福祉施策を安定的に実施するためにも、第9期計画を視野に入れた保険料設定。基金は、今後も引き続き、効率的・効果的に活用する。



太子町での防災・減災対策の取り組みについて

公明クラブ
辻本 ひろゆき 議員

問 近年、どこで起こるか分からない自然災害において、防災・減災対策が必須であるが、これまで町として取り組んでいる対策をハード面、ソフト面それぞれの具体策をお聞きしたい。

答 毎年のように全国各地で激甚化する自然災害が発生しており、本町においても、防災・減災対策は重要な課題であると考え取り組んでいる。

まず、ハード面の対策として、本町が管理する普通河川においては、護岸改修、落差工や河床の改修を行い、今年度は、浦ン川等の浚渫工事を予定している。

また、41の橋梁及びトンネルについては、5年に1度、近接目視による点検で、継続的な維持補修に努めている。橋梁長寿命化修繕計画に基づき、改修工事を予定している。

また、町内22か所の避難所に多言語化や図記号を標準化し、高照度蓄光・反射式 避難場所等標識の設置を行っている。

次に、これまでのソフト面対策として、木造住宅の耐震改修や除却等に補助金制度の運用を図っているところで、ホームページなどで周知を行っている。

また、勉強会などで、防災と自助・互助・共助の大切さの啓発活動を行ってきた。

今年度は全世帯に配布する、太子町防災ガイドマップを更新、ハザードマップとしてリニューアルする。

問 障がい者、高齢者に対する避難支援のあり方を含めた町民の防災・減災意識の変革のための取り組みについてお聞きしたい。

答 本町では、住民が自ら災害に備え、災害発生時に十分な防災活動が行われるよう地域の実情に応じた自発的な自主防災組織の育成を進めている。障がい者及び高齢者の避難支援については、「避難行動要支援者名簿」を作成し、8月末現在で145名を登録している。今後も引き続き、啓発活動を継続し、要支援者登録制度の周知に取り組む。



太井川小橋



太子町の道路行政について

しなが会
斧田 秀明 議員

問 近年の太子町を取り巻く道路整備状況の変化と、道路整備を踏まえたまちづくりについて、町の考え方を問う。

答 太子町を取り巻く道路ネットワークは、平成16年3月には南阪奈道路が全線開通し、平成30年3月には太子西条線が、令和元年8月には粟ヶ池バイパスが供用開始され、現在、近鉄長野線の高架化工事が進められている。南阪奈道路により広域的なネットワークが構築され、太子西条線の整備により大型商業施設が進出し、本町住民生活の向上につながるなど、道路整備は本町のまちづくりと住民生活に大きな影響をもたらしている。更に「大阪府都市整備中期計画（R3～R12）」の見直しに伴い山城バイパスの延伸事業が「再開」と位置付けられ、第5次総合計画の土地利用方針との整合性を図りながら、都市計画マスタープランの土地利用に即した整備については、太子町都市計画審議会で審議を重ね、本町にふさわしいまちづくりや地域活性化を目指していく。また現状、太子インターチェンジ周辺

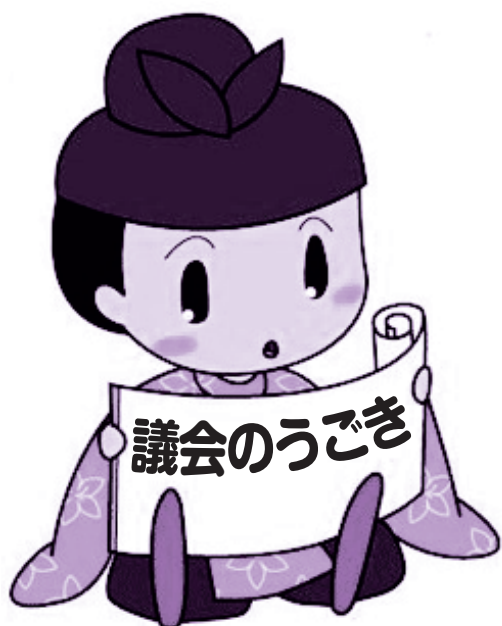
地域の府道香芝太子線沿道の土地利用は、都市計画マスタープランでは沿道系誘導地となっているが、更なる企業誘致を進めるため、都市計画の提案制度を活用した基準の創設に向けて大阪府と協議を進める。

問 町道の老朽化対策について、住民の皆さんから強い要望があるが、その整備状況について問う。

答 昨年度は、主なバス路線の舗装路面下の空洞発生状況の調査を実施し補修を行った。道路の舗装は、道路ストック点検の結果を参考に、舗装の個別施設計画を作成し、路線の舗装のひび割れやわだち掘れ等の劣化度を測定し数値化を行い、それを基準に地域特性による優先度の判定を加え、舗装の補修工事の順位を決定している。また、高齢者や障がい者をはじめ全ての人が、安全で安心な歩道を通行できるよう、歩道舗装の個別施設計画を作成し、優先度を考慮し、舗裝修繕工事の順位を決定し、施工している。今後も、道路の通行に支障を来さないよう適切な管理を保つため、効率的で効果的な舗装の補修工事等に努める。



町道太子西条線・新府道美原太子線交差点



生涯学習施設建設調査特別委員会

11月5日『第30回生涯学習施設建設調査特別委員会』が開催されました。12月町広報紙に掲載する「(仮称)太子町生涯学習施設 愛称募集」について、説明、質疑を行いました。当初案では示されていなかった「愛称の基準」を追加し、小学生からも募集することになりました。多くの住民が集える、住民の皆さんに親しめる名称になることを望んでいます。ぜひ、皆さん、ご応募ください。



2022年7月庁舎横にオープン（予定）

町村議長会研修会



令和3年度 正副議長等研修会
大阪府町村議長会 村井浩二会長挨拶
令和3年11月10日、令和3年度正副議長等研修会が開催され、村井議長と森田副議長が参加しました。

研修会では、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター・社会参加と地域保健研究チーム研究部長の藤原佳典氏より、「高齢者が参加する地域づくり」と題して、これからの地域づくりにおける高齢者の積極的な社会参加について、澁沢栄一の「三方よし」の思想になぞらえ、高齢者、現役世代、地域社会の三方すべてにメリットのある多世代共生型の社会モデル

をご提案されるとともに、世代間交流が心身の健康に与える効果について、ご自身が運営する絵本の読み聞かせボランティア団体での事例を交えてご講演いただきました。



講演中の藤原佳典氏

おおさか山の日



辻本順行会長挨拶

大阪府では、府民のみなさんに森林の果たす役割をご理解いただき、森林を守る契機とするために11月の第2土曜日をおおさか「山の日」と定めています。この日、11月13日に『自然を守る会』（辻本順行会長）主催のクリーンハイキングに議員も会員の一員として参加し、秋の景色を楽しみながら、修繕され新しくなった登山道を登りました。



子どもも軽やかな足取りで山登り

聖徳太子没後1400年事業 聖徳太子像建立

聖徳太子没後1400年の年、2021年も残りわずかとなりました。コロナ禍の中、緊急事態宣言もあり、行事の中止・縮小が余儀なくされましたが、「聖徳太子没後1400年記念実行委員会」（澤田清会長）をはじめ、数多くの方々のご尽力のもと、目標額（1000万円）以上の寄付を集め、この度、羽曳野市の協力もいただき、上ノ太子駅前に聖徳太子像が建立されることになりました。

実行委員会のみなさま、協力いただいた関係者、住民のみなさまに心から厚く御礼申し上げます。

太子町にとって、「北の玄関口」になる上ノ太子駅から訪れる方々を聖徳太子がお迎えします。町議会としましても、聖徳太子像建立を契機に、さらに町の魅力発信に取り組んでまいります。

【募金総額】 約1200万円

【像の概要】 銅像の高さ1.9m、台座1.3m（全体の高さ3.2m）



台座に鎮座される聖徳太子像。
お披露目を目前に控え、シートに包まれています。

全員協議会

9月1日の全員協議会におきまして、陳情・要望書の取扱いについて、審議しました。採決の結果をお知らせします。

件名	斧田秀明	建石良明	西田いく子	藤井千代美	辻本ひろゆき	辻本馨	中村直幸	森田忠彦	山田強	村井浩二
「辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情」の提出について	●	●	○	○	●	●	●	●	●	—
人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること	●	●	○	○	●	●	●	●	●	—
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	—
中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見書の提出について	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
新型コロナウイルス感染症への抜本対策を求める意見書（案）	●	●	○	○	●	●	●	●	●	—
学校給食費の無償化を求める意見書（案）	●	●	○	○	●	●	●	●	●	—
プラスチックの発生抑制と実効性ある資源循環政策を求める意見書（案）	●	●	○	○	●	●	○	●	○	—

各議員の賛否 ○賛成 ●反対 —議長 ※賛否が同数の場合は、議長採決

次の定例会は、
12月に開催されます。
ぜひ、傍聴にお越し
ください。

日程については、ホームページ
広報無線でお知らせします。

本会議の傍聴に来られる人へのお願い

新型コロナウイルス感染症対策として、傍聴に来られる人については、次の事項を遵守の上、参加をお願いします。

○マスクの着用 ○手指消毒 ○検温 ○間隔をあけて着席

※傍聴者が多数予測される場合は、当日、事前に傍聴券を配布する場合があります。